

ま本に広絵生と乳んでと気
読売新聞 2006年4月4日 13版 大阪本社

◇「ポライトネスと英語教育」刊行 1994年設立の「待遇表現研究会」を活動基盤とする堀素子・関西外国大教授ら研究者7人が共同執筆。「ポライトネス」を、訳語の「礼儀正しさ」「丁寧さ」だけではなく、聞き手に対する話し手の配慮すべてという概念にとらえ、英語教育の新たな視点として重要だと説く。

12章構成で、英語テキストの国際比較などを通して、語彙(ごい)や文法を教えるだけでは、英語を使いこなす力をつけさせるのは困難だと感じている英語教師らに、問題解決のヒントを提示している。

東京都文京区・ひつじ書房刊。A5判、265頁。
 6200円(税別)。